ひろがるＷＡラボ

勤続30年　管理者
新井　昭代

『ひろがるＷＡラボ』がスタートしました！
ひろがるＷＡラボは、令和8年4月1日、館邑会の新しい事業所としてスタートしました。生活介護事業と就労継続支援Ｂ型事業の2つの事業を行う、多機能型事業所です。これまで明和町地域活動支援センターとして運営されていた事業を、障害福祉サービス事業所として館邑会が担っていくこととなりました。地域活動支援センターの皆さんも、就労継続支援Ｂ型事業を利用することになり、館邑会の仲間に加わることとなりました。現在は、生活介護を利用される方も少しずつ増え、事業所もさらに活気が出てきています。
「ひろがる」には、自分の可能性と、人とのつながりがひろがっていくこと。
「ＷＡ」には、円・縁、そして和。ほっとできる場所と、人とのつながり。
「ラボ」には、安心してさまざまな体験や経験ができる場所。そんな思いを込めています。一人ひとりが安心して過ごし、自分らしくさまざまなことに挑戦できる。そして、人との出会いやつながりの中で、それぞれの可能性がひろがっていく。そんな居場所を目指して、スタッフ一同、力を合わせて取り組んでまいります。これから少しずつ、皆さんと一緒に「ひろがるＷＡラボ」をつくっていきたいと思います。皆さん、どうぞよろしくお願いいたします！

しろっこ

勤続3年　管理者
辻　光弘

今年４月、基幹相談支援センター「しろっこ」が開所しました。多くの方々の思いを受け継ぎ、地域の皆さんと共に、新しい一歩を踏み出しています。日々様々な相談に耳を傾けながら、人と人、暮らしと制度をつなぎ、これからの地域の姿を一緒に考えています。
私たちが目指すのは、昔の地域を取り戻すことではなく、これまで大切にされてきた思いや支え合いを、今の暮らしに合った新しい仕組みとして育てることです。地域の皆さんや関係機関と知恵を持ち寄り、小さな出会いや気づきを、次の一歩につなげていきたいと思っています。
地域づくりには、楽しさも大切です。気軽に集まり、おしゃべりをしたり、「こんなことができたらいいね」と夢を語ったり。そんな時間を重ねながら、共に考え、試してみることを楽しんでいきたいと思います。
しろっこの夢は、困ったときには安心して頼れ、誰もが自分らしく暮らし、互いの力になれる地域を育てることです。人と人のあいだに生まれる小さなつながりが、やがて地域の文化となり、次の世代へ受け継がれていく。その未来を、皆さんと共につくっていきたいと願っています。

基幹相談支援センター
しろっこ